

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岩槻消防署	階数	地上2F
建設地	さいたま市岩槻区大字岩槻字西原	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2017年10月23日
敷地面積	2,732 m <sup>2</sup>	作成者	(株)総合設備計画 伊藤
建築面積	1,200 m <sup>2</sup>	確認日	2017年10月23日
延床面積	2,105 m <sup>2</sup>	確認者	(株)総合設備計画 伊藤



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.6</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 72% ③上記+②以外の 72% ④上記+ 72%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Q のスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア= 2.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア= 3.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LR のスコア = 3.8</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア= 4.3</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア= 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア= 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>室内環境については防汚性の高い建材を使用することや全面禁煙にすることで配慮している。 室外環境については設備の高効率化を図るとともに、適切な量の駐車場と駐輪場を設けることで配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>室内環境については全面禁煙にすることで配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>防汚性の高い建材を使用している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>植栽により良好な景観を形成している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>設備の高効率化を図っている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>リサイクル材を使用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>適切な量の駐車場と駐輪場を設けている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される